

山江村議会だより

まるおか

No.75

心ひとつに！ みんなでジャンプ！！



村民体育祭り



シンポジウム

写真の説明

絶好の秋晴れのなか、村民体育祭が開催されました。午前中のみでしたが、多くの村民が一堂に会し、和やかな雰囲気の中で種目が行われました。

また、村政施行130周年記念シンポジウムでは、山江中学生による20年後を見据えた村づくりの提言が発表され、山江村の将来を担う子供たちを誇らしく思えた一日でした。

目次

○令和元年第5回山江村議会定例会報告	P2
・令和元年度補正予算	P5
・一般質問	P6
○議員活動の一コマ	P12
○編集後記「だんだんなあ」	P12

令和元年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

平成30年度一般会計・特別会計

令和元年第5回定例会報告

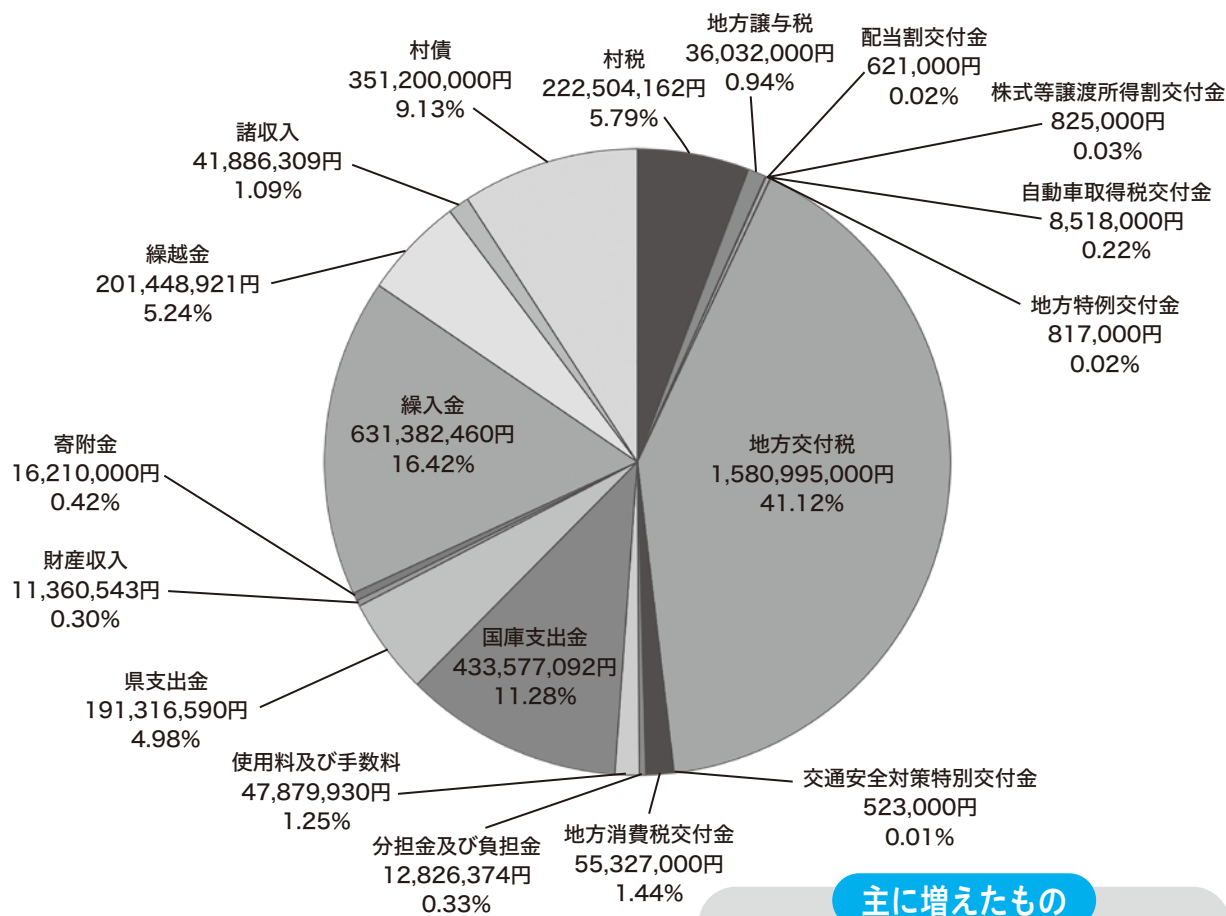
令和元年第5回山江村議会定例会は、9月4日から12日までの9日間の会期で開かれました。今回の定例会では、平成30年度一般会計・特別会計の決算認定7件をはじめ、令和元年度一般会計・特別会計補正予算7件、専決処分事項の承認1件、山江村印鑑条例の一部を改正する条例の制定など4件、人事案件として、山江村教育委員会委員の任命同意など2件の21議案が提案され審議を行いました。

令和元年度一般会計補正予算（第3号）の一部を修正し、他の議案については、原案のとおり可決・決定（人事案件1件については撤回）しました。

また、11日の一般質問では8名の議員が登壇し、当面する行政課題等について一般質問を行いました。

平成30年度 決算状況（歳入）

【単位：円, 構成比%】



主に減ったもの

- 地方交付税: 4,369,000円の減(対前年度比99.7%)
※村の財政需要に即して必要な財源を確保するために、国民の負担する租税を国と村のそれぞれの財政需要によって配分され、村の財源保障を確保するもの。
- 使用料及び手数料: 1,741,810円の減(対前年度比96.5%)
※村有施設等の使用料及び各種証明書の発行手数料
- 繰越金: 99,699,368円の減(対前年度比66.9%)
※前年度予算の繰越金

主に増えたもの

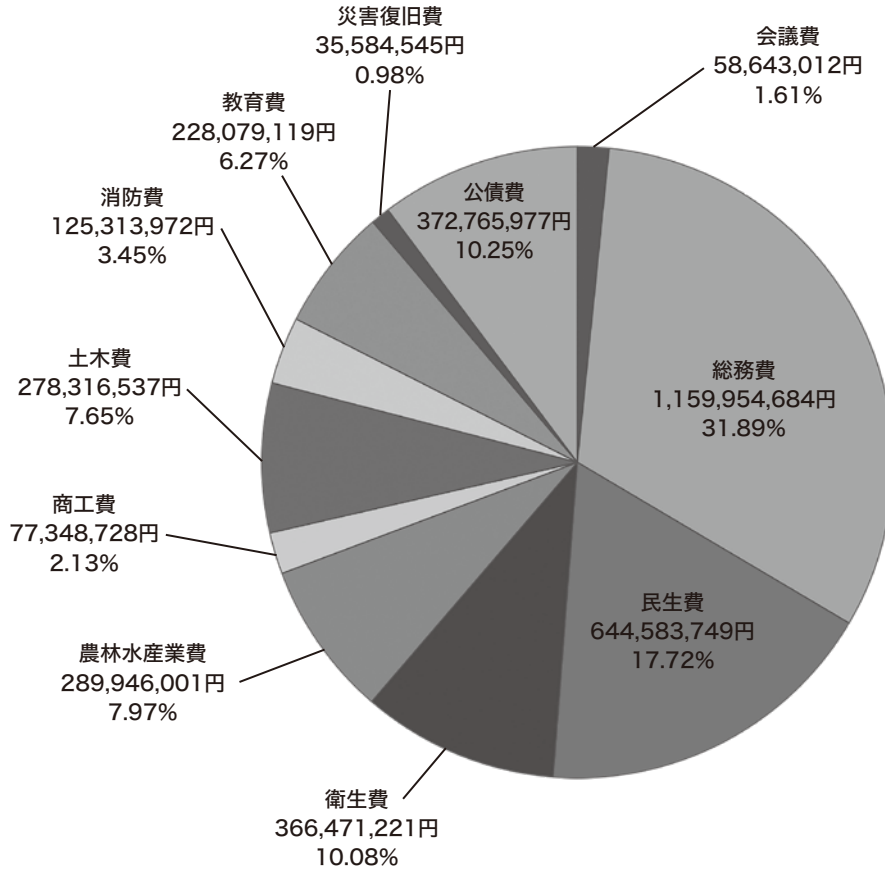
- 村税: 8,387,179円の増(対前年度比103.9%)
※(村民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、入湯税)
- 国庫支出金: 47,107,719円の増(対前年度比112.2%)
※国庫(負担金、補助金、委託金)より、事務の全部及び一部が交付される。
(総務管理費補助金、地方道路整備補助金、公共土木施設災害復旧費補助金)
- 繰入金: 464,454,514円の増(対前年度比378.2%)
※基金からの繰入金など。(土地開発基金)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
歳入総額	3,478,888,275 円	3,845,218,381 円	110.5%

決算を認定!

【単位：円，構成比%】

平成30年度 決算状況（歳出）



主に減ったもの

- 民生費：12,640,659円の減(対前年度比98.1%)
※簡素な給付措置(経済対策分)
- 衛生費：37,496,788円の減(対前年度比90.7%)
※人吉球磨広域行政組合負担金
- 土木費：168,710,991円の減(対前年度比62.3%)
※村営住宅建設事業費

主に増えたもの

- 総務費：456,137,367円の増(対前年度比164.8%)
※村有地施設整備基金積立金、消防施設整備工事
- 商工費：27,046,455円の増(対前年度比153.8%)
※温泉センター基金積立金、温泉施設に係る工事請負費
- 災害復旧費：34,760,829円の増(対前年度比4,320.0%)
※公共土木施設災害復旧費、林業施設災害復旧費

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
歳出総額	3,277,439,354 円	3,637,007,545 円	111.0%

■会計別歳入歳出決算額

【単位：円/％】

会計名	予算現額	決算額		歳入歳出 差引額	執行率	
		歳入総額	歳出総額		歳入	歳出
一般会計	4,015,579,437	3,845,218,381	3,637,007,545	208,210,836	95.8%	90.6%
国民健康保険	432,200,000	433,013,260	402,016,437	30,996,823	100.2%	93.0%
簡易水道	159,413,000	159,501,763	155,961,450	3,540,313	100.1%	97.8%
農業集落排水	138,755,000	140,594,178	133,882,888	6,711,290	101.3%	96.5%
介護保険	472,813,000	472,977,891	438,480,126	34,497,765	100.0%	92.7%
後期高齢者医療	34,226,000	34,418,470	32,840,735	1,577,735	100.6%	96.0%
ケーブルテレビ	102,552,000	102,556,687	96,294,671	6,262,016	100.0%	93.9%
合計	5,355,538,437	5,188,280,630	4,896,483,852	291,796,778	96.9%	91.4%

決算に伴う監査委員の審査意見

平成30年度決算は、一般会計・特別会計を合わせた決算総額においては、歳入 5,188,280 千円、歳出 4,896,484 千円で形式収支は 291,796 千円の黒字、実質収支は 281,205 千円の黒字であり、実質単年度収支は 106,235 千円の赤字である。

しかしながら、今後も高齢化が進み、医療技術の高度化や老人医療受給者の増加等により、医療費等に係る歳出が益々増加するものと思われる。

一般会計の財政構造は、実質収支比率 11.0%で前年度より 0.4%上昇し、経常収支比率は 93.1%で 3.1 上昇している。また、財政力指数は 0.144 で 0.005 上昇し、実質公債費比率は 9.7%で 0.5%上昇している。

今後とも厳しい財政状況の中で、自主財源を確保するとともに経常的経費を節約し、積極的に諸事業の推進を図り、一層の計画性と効率性を求め、健全で持続可能な行財政基盤の構築に取り組み、村民の福祉の増進と安心して暮らせる山江村づくりにより一層努めることを望む。

(山江村監査委員 木下 久人・西 孝恒)

こんなことが決まりました

条例制定等議案	議決の結果
承認第10号 専決処分事項の承認を求めることについて ■令和元年度山江村一般会計補正予算(第2号)において、大雨被害による道路河川災害復旧費に19,800千円を追加した専決処分事項の承認を求めるもの	原案承認
同意第4号 山江村教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて ■現委員の任期満了により、新たに委員を任命するにあたり同意を求めるもの 新委員：東 亜里砂 氏(第4区) 任期：令和元年10月1日から令和5年9月30日	原案同意
議案第34号 山江村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について ■印鑑登録証明書を発行する際、希望があれば、旧姓も記載した証明書の発行が可能となるための条例の改正	原案決
議案第35号 山江村森林環境譲与税基金条例の制定について ■新たに創設された森林環境税及び森林環境譲与税の適正な施策運用を図るため、基金を創設するもの	原案決
議案第43号 公共工事請負契約の締結について ※追加提案 ■山江村役場庁舎非常用電源設備設置工事の指名競争入札を行い、請負契約の締結については、議会の議決を経る必要があるため	原案決
議案第44号 公共工事請負契約の締結について ※追加提案 ■村道県道下段線下之段橋上部工工事の指名競争入札を行い、請負契約の締結については、議会の議決を経る必要があるため	原案決

令和元年度一般会計補正予算(第3号)の修正について

発議者：横谷 巡議員、立道 徹議員、中村龍喜議員

修正の内容：やまえ栗ブランディング委託料 4,389 千円 減額
再生可能エネルギー調査委託料等 9,967 千円 減額

提案理由(概要)：これまでの海外戦略で一定の成果をあげたことから、一次産業へ振り向け、稲作をはじめとする他の農産物への振興策、国内への需要拡大を検証すべき。エネルギーの調査費用については、実現性があるかが重要であるが、相当の困難を極めると判断する。このことから、両委託料については、減額を提案する。

質疑・討論：なし

表決(起立採決)：議案第36号 令和元年度山江村一般会計補正予算(第3号)に対する修正案

議員名	本田議員	久保山議員	中村議員	赤坂議員	森田議員	横谷議員	立道議員	西議員	中竹議長	秋丸議員
賛否	×	×	○	×	○	○	○	○	/	○

○：修正案に賛成 ×：修正案に反対 /：議長は採決しません

令和元年度 一般会計補正予算（第3号）

歳入

【単位：千円】

区分	補正前の額	補正額	計	説明（主な内容）
地方特例交付金	600	7,632	7,962	子ども・子育て支援臨時交付金の増
地方交付税	1,460,000	20,638	1,480,638	普通交付税の増
分担金及び負担金	13,862	△4,012	9,850	児童福祉費負担金の減
国庫支出金	463,604	31,867	495,471	児童福祉費負担金の増 公共土木施設災害復旧費補助金の増
県支出金	200,123	6,792	206,915	児童福祉費負担金の増
財産収入	30,937	6,300	37,237	出資金返還金に伴う増
繰入金	234,726	5,859	240,585	特別会計より
繰越金	117,070	80,548	197,618	
諸収入	21,526	15,101	36,627	プレミアム付商品券販売収入
村債	433,000	10,500	443,500	山田小屋内トイレ整備事業
歳入合計	3,344,095	180,955	3,525,050	

歳出

【単位：千円】

区分	補正前の額	補正額	計	説明（主な内容）
総務費	671,267	58,973	730,240	財政調整基金への積立：50,000 印鑑登録システム改修業務委託料：667
民生費	622,225	41,312	663,537	プレミアム付商品券事業補助金：12,000 施設型給付費：22,109
衛生費	385,940	1,042	386,982	母子保健情報連携システム改修委託料：925
農林水産業費	312,791	3,613	316,404	鳥獣被害対策施設整備補助金：2,000
商工費	58,575	2,541	61,116	丸岡公園整備費：2,000
土木費	441,156	4,216	445,372	道路新設改良費：3,700
消防費	134,857	263	135,120	修繕料：263
教育費	241,376	8,498	249,874	山田小屋内トイレ整備工事：7,000
災害復旧費	24,300	17,500	41,800	災害復旧工事請負費（2ヶ所）：17,500
予備費	21,724	42,997	64,721	
歳出合計	3,344,095	180,955	3,525,050	

令和元年度 特別会計補正予算

【単位：千円】

会計名	補正前の額	補正額	計	説明（主な内容）
国民健康保険事業	388,000	31,099	419,099	決算による前年度繰越金など
簡易水道事業	164,500	892	165,392	決算による前年度繰越金など
農業集落排水事業	136,900	2,539	139,439	決算による前年度繰越金など
介護保険事業	440,528	35,912	476,440	決算による前年度繰越金など
後期高齢者医療事業	35,000	934	35,934	決算による前年度繰越金など
ケーブルテレビ事業	92,500	1,456	93,956	決算による前年度繰越金など

（国民健康保険、後期高齢者医療、ケーブルテレビ）事業は、補正第1号
（簡易水道、農業集落排水、介護保険）事業は、補正第2号

執行部にここが聞きたい！！

(一般質問者)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ
1	森田俊介	○林業振興について ○農業振興について ○物産館の運営状況について	6~7ページ
2	西孝恒	○防災について ○学校における熱中症予防対策について ○AEDの設置状況について ○参道や遊歩道の現状について	7~8ページ
3	久保山直巳	○2020年から始まる「教育改革」への対応について ○ICT教育のデメリットについて	8ページ
4	横谷巡	○村民の声から ・丸岡公園の活用について ・道路の維持管理について ○平成30年度決算を受けての財政運営について ○教職員の不祥事について	8~9ページ
5	立道徹	○定住化促進について ○砂防工事について ○不登校児童・生徒の対応について	9~10ページ
6	赤坂修	○投票率向上対策について ○第六次総合振興計画の企業誘致の推進・雇用創出について ○小さな産業づくり事業交付金について	10ページ
7	本田りか	○女性が働きやすい職場環境の整備について ○山江村の地方創生事業について	10-11ページ
8	中村龍喜	○再生エネルギーについて ○ブランディング事業について ○防災事業について	11ページ

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。
また、各議員より提出された原稿のまま掲載しております。

質問 総合振興計画には、特用林産物の増産、産地化を促進すると掲げてあったが、現在の状況は。
答弁 木炭が約4ト、しいたげが0.8ト、竹の子が1トである。ニオイヒバは花木生産組合で栽培されており、JAやスーパーへ出荷されている。

質問 基金事業を言わば補助をどのように使用していくのか。
答弁 令和4年から令和6年までが1,200万円、令和7年から令和10年までが1,600万円、令和11年度からは2,400万円が分配される。

質問 森林環境譲与税の配分基準の見直しについて尋ねる。現状での山江村の配分基準は723万円程度と聞いているが、どのように使用していくのか。
答弁 令和4年から令和6年までが1,200万円、令和7年から令和10年までが1,600万円、令和11年度からは2,400万円が分配される。

林業振興について



森田 俊介 議員



所得の向上が期待される特用林産物

質問 万江地区の竹林に特用林産物鳥獣被害対策防護柵が設置してあるが、竹林の中は荒れ放題で手入れも大変だとは思いますが、高齢化が進むなか事業として成り立つのか。

答弁 ワイヤーマッシュを1km張り巡らせている。竹林の中で竹の子の生産、出荷という取組みを行い、間伐などを行いながら生産性を上げていきたい。

質問 村内各地で花祭りが行われ、甘茶などが振る舞われているが、甘茶の原料が万江地区に生息しているのはご存じか。この原料は万江地区にしかないのか、生産支援等を行う考えはないか。

答弁 地元、生産者と話し合いを行い、要望があれば支援等を検討する。

質問 補助金を活用し、加工場、冷蔵庫などの備品等を整備する計画はあるのか。

答弁 今ある加工場が活用できれば活用していきたい。

農業振興について

質問 集積事業はどの程度進んでいるのか。

答弁 万江地区では11社の50%を達成している。

物産館の運営状況について

質問 加工施設新設に伴い、機器購入等を行っているが今年度の計画は。

答弁 栗ペーストについては、1.3トンの製造取引が契約されている。栗まんじゅうに使用する分と合わせて2.6トン程度が必要である。正確な栗の集荷状況は把握していない。

質問 昨年度は7.4トンの受入があったとの報告を受けている。加工施設に関わる従業員の確保、他の加工施設及び市場との価格格差をどのように考えているか。

答弁 従業員の確保については、稼働している製造工場に支障が出ないよう確保する。市場との価格格差については、関係機関との調整を図っていく。

質問 栗が終了した後の運用は。

答弁 他の作物を加工する予定である。「ほたる米」を特産物として、今一度売り出す考えはないか。

答弁 「ほたる米」の生産過程でも、きちんとした定義を設け、生産、販売を行っていききたい。



西 孝恒 議員

AEDの設置状況について

質問 本村に於けるAEDの設置箇所、設置数、管理状況を伺う。

答弁 AEDの設置箇所は役場、山江体育館、歴史民俗資料館、健康の駅に各1台、万江地区は温泉ほたる、管理センター、屋形多目的集会施設に各1台あり関係各課及び施設の管理者が管理している。学校では3校に各2台設置していて専門業者により保守業務を含むリース契約をしている。また民間施設では山江老健、JAくま山江店、高速道路のサービスエリア上下線に各1台、各保育園にも各1台設置されていて各事業所が管理している。

質問 AEDの設置基準や条例について。

答弁 設置基準としては、厚労省のAEDの適正配置に関するガイドラインに定めてある基準により設置している。多くの村民が利用する公共施設等や不特定多数の人が利用する民間施設にも設置されているので、改めて条例の制定については考えていない。

質問 AEDの取り扱いや、心肺蘇生の講習などについて。

答弁 消防団、PTA、各事業所で講習会を開催している。また見守りネットワーク協力員や日赤による一般の方への講習会も開催されている。今後講習を希望される団体等ある場合は、役場や消防署へ連絡してほしい。

参道や遊歩道の現状について

質問 本村の参道や遊歩道の現地状況の中から、先ず諏訪神社への参道について雨のときはその地形上相当な水量が流れ、その周囲は心配な面もあるため対策について。

答弁 本村では、96の重要文化財を指定しているが、老朽化が進んでいるところも見受けられる。指定以外でも諏訪神社の参道は若干傷んでい

るようである。

地域資源や観光資源を活かした観光振興の推進に向けた施策については、関係課などと協議しながら整備を進めていく必要があるのではと考えている。

質問 山江温泉ほたるから丸岡へ上る遊歩道の活用について。

答弁 温泉センターの遊歩道については、温泉センター、物産館への都市住民の来館を促進する目的でH19年度に国の交付金を活用して整備した施設であるが、現在は本来の目的が達成されていない状況である。今後どのようなことが目的に沿った施設として利活用があるのか検討を行っていききたい。



久保山直巳 議員

質問 戦後最大の教育改革が始まろうとしている。保護者に対して「教育改革」の内容など周知は行っているか。

答弁 ポスターの配布の徹底及び授業参観や懇談会等を通してその趣旨、取り組みについて説明を行っている。

質問 小学校英語教諭による英語の指導力の差、及び習熟できない児童への対応はどのようにされるか。

答弁 先生方、誰でも英語指導ができるよう指導力研修がいろいろな形で行われている。また、習熟できない児童の指導については、習熟というよりも子供たちが英語に慣れ親しみコミュニケーションをとり、英語で伝え合おうとする意欲を喚起するような指導が中心である。

質問 教諭自体への負担増、時間外残業等が心配されるが、その対策は如何か。また、英語教科、小・中学校教諭の指導助手、ALT一人で対応出来るのか心配である。

答弁 英語教育の導入により授業時間数等が増加し、十分な指導ができない状況にあると思われるので、来年度には財政状況を勘案しながら、ALTの増員も必要ではないかと考えているところである。

質問 授業中における機器の不具合の対処はどのようにされているのか、また、長時間ディスプレイを見ることで起きる目や身体、心の病気も問題になっており、VDT症候群が心配される。健康への配慮、対策はどのように考えるのか。

答弁 平成28年からICT支援（操作担当）を1名配置しており、ICT教材の作成、授業支援を行う。また、機器不具合時は予備機にて対応しながら、修理の場合は業者へ依頼し対応している。機器の使いすぎによる健康被害の状況であるが、授業で使用する時間は平均して5分から10分であり、長時間の使用はなく、全国のICT教育の会議等でもVDT障害の報告はあっていない、今後も子供たちの健康状況を常に把握して、適切な活用を図っていく。



横谷 巡 議員

総合公園の検討状況と丸岡公園の整備について

質問 現在、総合公園建設の検討状況はどのようになっているか。

答弁 山江村全体をまるごと公園と定義とし、3エリアにおいて、幅広い年齢層の方々が利用できる公園整備に向けて、検討委員会で協議を進めている。

質問 子どもの成長を応援し、遊び環境の自然と触れ合うコンパクトな遊具を設置した丸岡公園の整備はできないか。

答弁 丸岡公園も整備するエリアの一つであり、自然と触れ合いながら交流ができ、健康づくりの面からも活用できる公園整備を目指していきたい。

歩道の水溜り箇所の解消について

質問 歩道に水溜まり箇所があり、児童生徒や高齢者等弱者にとつては不便で、交通安全上からも危険である。調査点検し解消することはできないか。

答弁 雨天時にパトロールを行い、危険箇所の早期発見と対策、道路利用者の安全確保に努めてまいりたい。

2020年から始まる「教育改革」について

ICT教育のデメリット

平成30年度決算を受けて の財政運営について

質問 平成28年度、29年度決算の実質単年度収支は赤字となっているが、平成30年度決算の収支状況はどうか。

答弁 一般会計と特別会計を合わせた実質単年度収支額は、1億623万5000円の赤字である。

質問 ここ数年、実質単年度収支は赤字が続いているが、財政は健全性が担保され、持続可能な運営が必要である。今後の財政見直しはどうか。

答弁 実質収支比率は前年度より0.9%上昇し、これは繰越事業の減少が主な要因。基金への積み立てを行い財政運営の安定に対応したい。経常収支比率は前年度と比較して3.1%上昇し、普通交付税の減額や人件費の増が要因である。経常経費を節約し、財政の健全化を図ってまいりたい。

質問 財政調整基金も少しずつ減り続け、依存財源に頼るところの多い財政状況のなか、安定した財政運営のための方策が必要であり、収支均衡で運営されるべきと考える。財政運営上の課題は。

答弁 村税等の自主財源を確保しながら、住民の福祉向上、インフラ整備などの施策は国の補助金や交付金を活用し、地方債においては、過疎

債など有利な起債を活用して事業を進めていくことが、今後の財政上の課題と思っている。

学校教職員の不祥事について

質問 本村の学校教職員の酒気帯び運転という不祥事を受け、再発防止に向けた取り組みの状況は。

答弁 学期に一回は必ず行う不祥事防止研修、飲酒運転をしないという宣言書と家族の承認、飲酒習慣のセルフチェック表の確認などの取り組みにも関わらず、今回の不祥事が起きた。今後は再度その研修の見直しを行い、職員一人一人の心に響く研修を行っていききたい。

質問 村民から失われた信頼を早急に回復し、児童生徒、保護者との信頼関係をどのように醸成していくのか。

答弁 今後、不祥事防止に向けて真摯に取り組む、教育委員会と学校が一体となり、生徒たちの将来の夢の実現のため、また、保護者、地域の信頼回復に向け、誠心誠意取り組みていきたい。

質問 今回の学校教職員の不祥事を受けて、村としての綱紀粛正への考えは。

答弁 職員の不祥事、飲酒運転は役場全体として村民からの信頼失墜につながる、公務員に向ける厳しい目

から厳重な処罰をせざるを得ない。飲酒運転をしない宣言書、服務規程、倫理感の自覚研修等を行い、再発防止に努めてまいりたい。



立道 徹 議員

定住化促進について

質問 現在、計画中や進行中の造成地はあるのか。

答弁 模索中であり、具体的な候補地はない。

質問 山田地区の元ゴミ処理場の裏側の土地で買収の動きがあるが、村も動いているのか。

答弁 村としては動いていない。移住定住の施策は、村が行う公営住宅の建設、分譲地の造成、空き家のあつ旋などが主に上げられるが、財政的な問題もあり、民間参入も村としてはメリットがあるので視野には入れている。

砂防工事について

質問 万江神園地区に計画中の砂防ダム事業の進捗について伺う。

答弁 本年、国土交通省から砂防指定地として指定を受けた。前年度実施した用地測量が完了し、現在、用地交渉に向けた準備段階である。

質問 この事業は、村からの要望・陳情によって計画されたのか。

答弁 直接的な陳情は行っていない。以前、2基の砂防ダム建設事業が実施されたが1基で完了した。その後の県の調査で現在地が土砂災害警戒区域として指定され、この地域に小学校、保育園があるということ、平成28年12月に事業の認可を受けて、事業が進められている。

質問 事業箇所は、地域の水源地でもあり、地元から建設反対の声も上がっている。仮に発注者が村であるならば、どのように対処するのか。

答弁 反対の意思がある公共工事は中止する。しかしながら、この事業の警戒区域内には、小学校や保育園があり、簡単に止めるとは言えない状況である。今後、関係機関や地域住民との協議が必要である。

不登校児童・生徒の対応について

質問 過去3年間の不登校児童・生徒数は。

答弁 平成28年度 1名。平成29年度 2名。平成30年度 6名。令和元年度 3名である。

質問 不登校児童・生徒に対する取り組みは。

答弁 1 日休むと保護者へ連絡。2 日休むと家庭訪問の実施。3 日目から、学年主任・管理職・担任が家庭訪問を行う。長期になるようであれば、スクールソーシャルワーカーと連携し、面談等を実施する。医師を含めた不登校対策委員会を開催し、対応している。



赤坂 修 議員

投票率向上対策について

質問 全国的な傾向である投票率の

低下に対する要因はどのように考えているか。

答弁 政治への無関心、自分が選びたい政党、候補者がいない。投票日当日の天候等など。

質問 期日前投票所が現在山田地区一か所となつていているが万江地区に増設する考えはないか。

答弁 選挙立会人の引き受け手がないことや経費の面から増設は考えていない。

質問 交通弱者に対する投票所までの移動支援の考えは。

答弁 交通弱者の方の意見や情報を収集し選挙管理委員会で検討していく。

企業誘致について

質問 企業誘致の現在の進捗状況は。

答弁 人吉球磨で協議会を作り研修会、情報の共有をしているが具体的な企業誘致には至っていない。

質問 現在まで、三社の企業誘致が実現しているが地元雇用者は何名ぐらいいるのか。

答弁 三社の従業員数34名の内4名である。

質問 地元採用について会社訪問等により推進はされているのか。

答弁 山江村からの雇用を優先的にしてもらうようお願いはしている。
質問 企業誘致に対する村長の見解は。

答弁 環境をしっかりと整え、地域密着型の会社を誘致していきたい。

小さな産業づくり交付金事業について

質問 起業支援策としてこの事業を積極的に推進するの。

答弁 要綱を変更し、やる気のある団体については積極的に支援をしたい。

質問 現在までの実績と継続して事業を行つている団体は。

答弁 実績としては17団体で当初計画で継続して事業をされている団体は、5団体である。

質問 要綱では単年度の事業計画となつていているが5年間程度の事業計画を立て、それに基づいた指導支援が必要なのではないか。

答弁 構成人員は5名以上を3名以上に、事業計画については単年度を三年間の事業計画を立てるよう要綱の変更を行い、この計画に対する実績報告により助言指導を行っていく。



本田 りか 議員

女性が働きやすい職場環境の整備について

質問 (株) やまへの産前産後休暇、育児休暇等、女性が働きやすい職場環境の整備を進める考えはないか。

答弁 育児休業については標準報酬の67%を支払い、180日を超える日からは社会保険料の50%を負担している。育児休業後の職場復帰は、希望があれば復職できる体制をとっている。8週間の産前産後休業期間については、現状は無給なので直ちに改善したい。

山江村の地方創生事業について

質問 これまで山江村が取り組んできた地方創生事業の概略、目的、事業効果はどうなつていくか。

答弁 少子高齢化の進展に的確に対応し、①人口の減少に歯止めをかけると共に、②村の活性化につながる雇用づくり、③移住・定住の促進、妊娠、出産、子育ての希望を叶え、笑顔の絶えない村づくり、④安心な暮らしを実現する村づくりの四つを基本目標として、実現に向けた施策を遂行中である。事業効果として、新規就農者が2名から4名に増加し、有害鳥獣の被害

一般質問

額が780万円から120万円へ減少した。観光客数は18万人から22万人へ増加した。今年度が総合戦略の節目の年なので、しっかりと検証しながら、今後も事業を進めていきたい。

質問 地方創生交付金、一般財源、起債、償還状況と償還計画、起債の現在高について。

答弁 2,330万円の一般財源のうち、80%にあたる1,860万円が特別交付税として措置される。平成31年3月から償還が始まり、償還計画20年。起債の残高は、借入れ額の1,180万円である。

質問 本年度の事業計画と進捗状況。事業の目的と将来見込まれる効果について。

答弁 地方創生推進交付金を活用し、栗の新植、改植等やブランディング事業、栗まつりの開催、観光交流促進協議会の運営、農泊・民泊の推進、また、東京大学との共同研究や百人委員会の取り組み、支援などの人材育成事業を計画。進捗状況についてはほとんどの事業を着手している。やま栗の付加価値と認知度向上による消費拡大と観光客による交流人口の増加を図るため、やま栗の増産、品質向上、ブランディングを進めることにより将来の生産者の所得向上や後継者の育成、地域の

活性化が見込まれる。

この事業に対する効果として、単年度で1,000万円から2,000万円くらいの効果が期待できるのではないかと。

質問 地方創生事業の総括と今後の村づくりの方針について。

答弁 村民の方々が、暮らしやすい、しっかりと稼げる村をつくっていくと、それにより山江での暮らしを豊かにしていこう。山江の栗というのは他の町村も知っているもので、そういうことを主体とし、産業をもっと活性化させたい、もちろん栗だけでなく農林業を活性化させたいというのがありますし、将来的には栗条例を生かしながら、シンボリックな環境を大事にする山江で、栗ができる環境を大事にするような村づくりをしたい。より良い観光づくりとしては、国内外に栗を売っていききたい。そして内外の外に売っていくということについては、国内で色んなことをやるよりも外で色々なことをやって、外の方を呼び込んだほうが発信力が全然違う。今後やま栗の販路を拡大しこの村の方々が、本当に住みよい環境の中で、しっかりと自立するような産業も作っていきながら、子供たちが夢を持ち、お年寄りが住みよい村づくりの中でよそからの定住者を呼び込めたらと考えている。



中村 龍喜 議員

再生エネルギーについて

質問 地元新聞の一面に、村内の電力を自然エネルギーで自給自足する旨の報道がされていた。その中で、木質バイオマス事業の調査検討も実施するということがあったが、この発電の供給先についての考えを伺う。

答弁 木質バイオマス事業については、発電ではなく、熱として温泉「ほたる」等への供給事業としての可能性を模索していく。

栗のブランディング事業について

質問 昨年、一昨年とフランス、シンガポールへ海外展開事業を行い、「広報やま栗」には、売上げ額は掲載してあったが、経費は載っていない

かったようである。実際にかかった経費はどれくらいか。また、その都度広報で情報提供する必要があると考えるが、周知の方法はどうであったのか伺う。

答弁 フランスへの経費は169万円である。山村活性化交付金事業で国の補助が100%であった。この事業については、事業報告会を実施している。シンガポールへの経費は224万円である。50%が国の補助金であり、残りの50%の約8割は特別交付税として交付されることとなっている。栗のブランディング事業については、広報、ケーブルテレビ等で分かりやすく伝えていきたい。

防災事業について

質問 近年、豪雨や台風等の自然災害が多く発生しており、本村でもレベル3に該当する避難準備情報が発令されている現状である。地域の抛り所でもある公民館が避難所に指定してある場合もあるが、はたして公民館は安全なのか。

答弁 避難所及び避難場所に指定されている公民館は、県が指定するイエローゾーン、レッドゾーン区域に指定されていない公民館を選定している。避難準備情報は、早め早めに発令するよう心掛けている。

「議員活動の1コマ」



議会定例会3日目の9月6日（金）は、午前9時から現地調査を行いました。災害復旧工事が行われている村道井川尻弁慶谷線をはじめ、山江中学校屋外トイレ新設工事、川辺川造成地栗新植・改植事業など、合わせて8か所を巡回し、施工の状況や事業の計画について、事業担当課から説明をうけるなどしました。



【川辺川造成地(栗の新植)】



【村道井川尻弁慶谷線の災害復旧状】

9月18日（水）から19日（木）の2日間、山江村の抱える課題や事業に必要な予算・補助金等の確保のため、令和2年度の主軸事業要望活動を県選出国會議員3名、関係国會議員1名の計4名に行いました。当日は内山村長も同行し、中竹議長とともに、村の現状や地域の抱える課題などについて要望を行い、国會議員からは、次年度に向けた施策や課題解決へ向け協力を惜しまないと言った声をいただき、有意義な活動がありました。

翌19日には、再生可能エネルギーの研修として企業訪問を行い、国や企業が進めるエネルギー政策の情報提供、意見交換などを行いました。



【金子代議士へ要望書提出】



【松村参議より国の概要説明】

だんだんなあ

令和元年スタート、またも台風と豪雨、災害の年でありました。被災された方に心よりお見舞いと、お悔やみを申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧を願います。

さて、先日の新聞に宇宙航空開発機構（JAXA）が九月二八日に国際宇宙ステーションに無人補給機「こうのとり」8号機が宇宙飛行士に生鮮食品を届けたとのことでした。北海道産のタマネギ、宮城県産のパプリカ、愛媛、佐賀両県産シャインマスカットとオーロラブラックのブドウが搭載されたとの記事でした。皮など捨てる部分や種が少ないなどの条件はあるものの、ふと頭に浮かんだのが山江村産、栗の渋皮煮や、やまめの甘露煮等の真空パックを国際宇宙ステーションの飛行士へ届けてみてはと、思ったところでした。喜んでもらえるのではないのでしょうか。そしてPRになるのでは。

今年も二カ月を切り、寒さも一段と厳しくなります、健康に留意して年末を迎えたいものです。最後になりましたが、今後皆様に関心を持って読んで頂ける議会だより、取り組んでまいります。

（文責 久保山 直巳）

【議会広報委員】

委員長／赤坂 修
副委員長／久保山 直巳
委員／本田 りか
中村 龍喜